

陸前高田市長 戸羽 太 様

陸前高田市議会議長 伊藤 明彦

平成25年第3回議会報告会開催結果について

貴職におかれましては、東日本大震災からの復旧、復興事業の推進を初めとして、市政運営に日々ご奮闘されておりますことに、感謝申し上げます。

さて、この程、議会基本条例の規定に基づき、陸前高田市議会として議会広聴広報特別委員会の主管により標記報告会（議会との懇談会）を開催したところではありますが、その結果が下記のとおりまとまりましたので、今後の市政運営の参考とされたく提出いたします。

記

1 議会報告会の開催概要

11月15日、20日、21日及び25日に開催したが、市内7か所で延べ65人の参加があった。

開催に当たっては、議会広聴広報特別委員会内の総務、教育民生、産業建設の3班体制で開催し、それぞれ「生活安全について」、「子育て世代の就業の場の確保について」、「震災後の学校施設の整備状況について」、「市内の農業振興について」、「水産加工の現状と課題について」にかかる特定テーマを設定し、関係団体構成員等の参加を得て懇談を行ったところである。

2 市民から寄せられた市政課題等

現在、震災復興の途上ではあるが、真摯に市民の声に耳を傾けると、公共事業の入札不調等で復興計画への遅れを懸念する方が多く、市政課題が山積していることは明らかである。

市民の安全安心を図る観点では、街路照明や防犯灯の整備、交通渋滞対策、豪雨対策、原発保障対策への不安や要望が多く寄せられた。

子育て世代の就業の場を確保する観点では、雇用・就業環境の実態把握、休日保育の実施、賑わいの創出、安全な避難ルートの設定等の意見が寄せられた。

震災後の学校施設整備の観点では、子どもたちの生活が一日も早く普通の生活に戻るような取組を求めるものが多く寄せられた。また、学校統合による児童生徒の心のケア、部活支援バスの継続、グラウンド周辺への街灯設置の要望もあった。

市内の農業振興を図る観点では、後継者の育成や担い手育成のための支援、「たかたのゆめ」の事業展開等に係る6次産業化、グループ補助の継続等を求める意見があった。

水産加工の現状と課題に係る観点では、復興関連工事による養殖漁業への影響への懸念や、被災地に働き手を呼び込む仮設住宅の柔軟な運用等にかかる要望を初め、事業実施に当たっては地元への事前説明を求める声があった。

よって、この後の施策等の立案及び実施に当たっては、以上の内容にも十分に配慮した市政運営がなされるよう求めるものである。